



証券コード 7814

# 2022年12月期 決算説明会資料

2023年2月16日(木)



日本創発グループ  
JAPAN CREATIVE PLATFORM GROUP

We Craft Your Imagination.

## Vision

日本創発グループの存在意義／めざすこと

We craft your imagination.

お客さまが羽ばたかせるご自身のイマジネーション。  
私たちは、多様なリソースと先進技術を駆使して、  
それを確かなカタチにするお手伝いをしていきます。

## Mission

ビジョン実現に向けて、日本創発グループがなすべきこと

### チームワーク

お客さまのチームの一員との心持ちで最善を尽くし、  
ベスト・パートナーとなることをめざします。そのため  
にも、社内・グループ内のチームワークの強化に努めます。

### プロの真心と技

私たちは、お客さまのご満足と成功を願う真心と、  
それを支える技を兼ね備えたプロフェッショナルです。

### 言い訳のない品質

納品物の品質はもとより、企画段階からアフター・フォ  
ローまでのプロセスとスピードにおいても、言い訳の  
ない高い品質を実現します。

## Value

ビジョンとミッションの下、

日本創発グループがお客さまや社会に提供する価値

### プラスαの追求

私たちの最大の喜びは、お客さまにご期待をこえる  
成果をお届けし、その笑顔を見ることが。もっと  
その笑顔に出会うため、私たちは自らを鍛えながら、  
お客さまにとってのプラスαを追求し続けます。

### 我が事として

私たちは、目の前の一人ひとりのお客さまのご要望や目的、  
お悩みやお困り事に真正面から向き合います。そして、  
そのご満足を我が事として、丁寧に、一所懸命に追求します。

### 多様性の底力

私たちは、多様な個性、専門性、先進技術をもった人と  
会社がつびつき、切磋琢磨している集団です。そこに  
息づく多様性、先進性、独創性をいっそう発揮しな  
がら、お客さまに新鮮な驚きをお届けしていきます。

### 新しいカタチ

私たちは、伝統的な印刷をさらに進化させつつ、想像力  
と先進デジタル技術を駆使して、クライアントの想いを、  
今まで見たことのないカタチでターゲットの心に  
刻みつけていきます。

### 良き市民

私たちは、良き市民として、お客さま、投資家、協力企業、  
業界、社員、さらには地域社会や環境に対する責任を、  
誠意をもって、また積極的に果たしていきます。

# 01 グループ会社

New 2022年 New 2023年

	印刷	ITメディア セールスプロモーション	プロダクツ
連結子会社	<p>日経印刷株式会社 SEIO PRINTING CO., LTD. BISHODO</p> <p>研精堂印刷株式会社 TANAKA MGS</p> <p>Lithmatic A PR ISE 株式会社アプライズ サンエーカガク印刷 Sanei Chemistry Printing</p> <p>2022年7月 連結化</p> <p>RINGSTONE</p> <p>2022年1月 連結化</p> <p>株式会社 小西印刷所 宏和樹脂工業株式会社</p>	<p>popal ANSTY CAD CENTER PRE-EZ</p> <p>FIVESTAR INTERACTIVE (98.70%) Crowd Gate PICO SONICJAM</p> <p>2022年7月 連結化 ONE PUBLISHING</p> <p>2023年1月 連結化 大光宣伝</p> <p>2023年1月 連結化</p> <p>New 2022年4月 DIAMOND HEADS</p> <p>New 2022年4月 BARK IN STYLE</p>	<p>colore co.,ltd. 新日本工芸(株)</p> <p>MEDICOS ENTERTAINMENT CO.,LTD. 株式会社 エスビー社</p> <p>2022年4月 合併</p> <p>SMILE FLAG 株式会社スマイル</p> <p>funbox</p>
持分法適用子会社	<p>HAL SCS SAKAO CS JANGO KAGAKU カタオカプラスチック株式会社 SMC</p>	<p>kyocolo MD Marketing Direction rokunana</p> <p>New 2022年7月</p> <p>GI Playce aex Inc.</p>	
持分法適用関連会社	<p>持分比率UP</p> <p>lijima 株式会社 (38.00%)</p> <p>NRI NRIファンファンブル・グラフィックス (49.00%)</p>	<p>cyber net (25.17%)</p> <p>New 2023年4月 BACKSTREETS INC. (47.83%)</p>	<p>IPO 2022年3月</p> <p>IMAGEMAGIC (30.70%)</p>
持分法適用外関連会社	<p>PROMO (93.75%)</p>	<p>アドクレール Visolab (90.00%) ALPHA CODE (30.57%) Five for (45.71%)</p> <p>New 2022年7月 Musignal (83.90%)</p>	<p>LANSELLO (33.33%) SO-KEN (30.77%) FRONTIER JAPAN (14.39%)</p>

(%)は議決権比率、記載の無い会社は議決権比率100.00% ※連結子会社および持分法適用子会社は議決権比率を記載していません。

## 02 新規グループ参入会社

### 連結子会社：印刷関連事業の拡充

#### 株式会社小西印刷所

兵庫県西宮市

2021年1月持分法化（議決権比率39.02%）

**2022年1月より連結子会社（議決権比率100%）**

##### 商業印刷および付帯サービス

兵庫県西宮市で1926年（大正15年）創業、同市最大規模を誇る総合印刷会社。  
システム構築、WEB、動画作成や販促プロモーション企画の運営制作など印刷の枠を超えた総合サービスを提供しています。



#### 株式会社リングストーン

東京都江東区

2021年4月持分法化（議決権比率37.83%）

**2022年7月より連結子会社（議決権比率100%）**

##### 包装資材および販促商品の企画、製造、販売

ファッションバックを中心に包装資材、パッケージ、販促商品を企画・開発・製造・販売を行っています。  
茨城県行方市に敷地面積約8,000坪の自社工場を保有し、自社での一貫生産が可能です。



## 02 新規グループ参入会社

連結子会社：ITメディア・セールスプロモーションの強化

### 株式会社ダイヤモンドヘッズ

東京都港区

2022年4月より連結子会社  
(議決権比率100%)

High Quality メディアデザイン



### 株式会社バークインスタイル

東京都渋谷区

2022年4月より連結子会社  
(議決権比率100%)

モデルマネージメント・インフルエンサーマーケティング



### 株式会社ワン・パブリッシング

東京都台東区

2020年10月持分法化 (議決権比率49.50%)

2022年7月より連結子会社  
(議決権比率59.20%)

書籍出版・WEBメディア、コンテンツマーケティング



### 大光宣伝株式会社

奈良県生駒市

2023年1月より連結子会社  
(議決権比率100%)

屋外広告・交通広告・トータルセールスプロモーション



## 02 新規グループ参入会社

株式会社Back Street 東京都渋谷区  
2023年4月より持分法化（議決権比率47.83%）

映像・イベント・音楽・グラフィックを中心に様々なニーズに応えるフレキシブルなプロデュースを行う、主に幼児向け映像コンテンツを企画制作するプロデュース集団です。  
教材カリキュラムからエンタメまで、平成、令和と形を変え新しいサービスを提供していきます。



# 03 2022年12月期連結累計期間の概況

(単位：百万円)

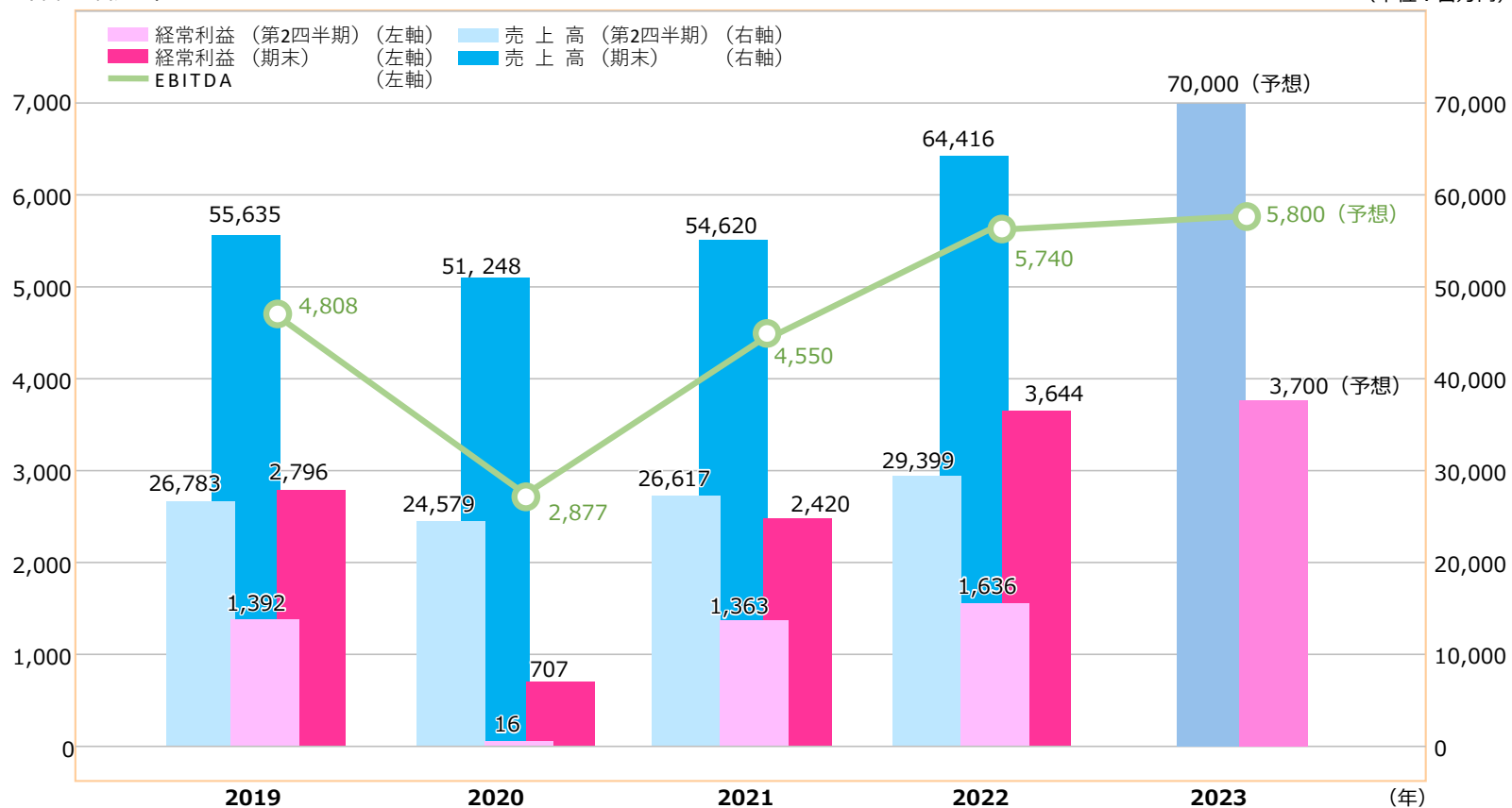
	2022年 実績 (A)	2022年12月期計画 (B) (2022年11月11日修正)		2021年 実績 (C)	差 異 (A-C)	
	金 額	金 額	対計画比 増減率	金 額	金 額	対前期比 増減率
<b>売 上 高</b>	<b>64,416</b>	62,000	3.9%	<b>54,620</b>	9,795	17.9%
<b>営業利益</b>	<b>3,248</b>	2,700	20.3%	<b>1,745</b>	1,503	86.2%
<b>営業利益率</b>	<b>5.0%</b>	4.4%	—	<b>3.2%</b>	—	—
<b>経常利益</b>	<b>3,644</b>	2,900	25.7%	<b>2,420</b>	1,224	50.6%
<b>経常利益率</b>	<b>5.7%</b>	4.7%	—	<b>4.4%</b>	—	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	<b>2,003</b>	2,000	0.6%	<b>951</b>	1,051	110.5%
<b>当期純利益率</b>	<b>3.1%</b>	3.2%	—	<b>1.7%</b>	—	—
<b>EBITDA</b>	<b>5,740</b>	5,100	12.6%	<b>4,550</b>	1,190	26.2%

※EBITDA = 経常利益減価償却費のれんの償却額金融費用

# 03 2022年12月期連結累計期間の概況

(単位：百万円)

(単位：百万円)



※EBITDA = 経常利益減価償却費のれんの償却額金融費用

※2019年12月期以降は、不動産賃貸収入を売上高ではなく 営業外収入として計上しています



# 03 2022年12月期連結累計期間の概況

## 売上増加の内容

2022年12月期 ----- 連結子会社 **36社** ※

売上高 **64,416**百万円

2021年12月期 ----- 連結子会社 **28社**

売上高 **54,620**百万円

**+9,795**百万円      **17.9%増**

※ 連結子会社の内 4社は期末 B S のみとなります

### 新規連結子会社

(株)小西印刷所	1月～
(株)ダイヤモンドヘッズ	4月～
(株)パークインスタイル	4月～
(株)ワン・パブリッシング	7月～
(株)リングストーン	7月～

⇒売上増加分 **約57億円**



**約40億円強**は、  
**既存事業会社**の増加分

# 03 2022年12月期2Q連結累計期間の概況

## 原材料に関する市況の変化

### 用紙の上昇

2020年1月から2022年12月 **約2割の上昇**

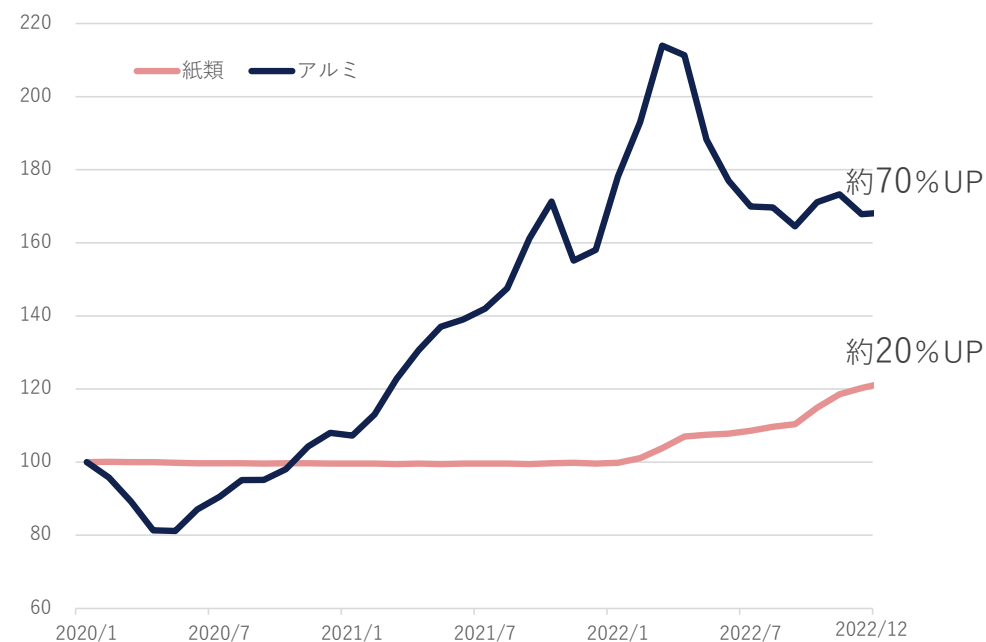
※日本銀行企業物価指数（パルプ・紙・同製品）

### アルミ市況の上昇

2020年1月から2022年12月 **約7割の上昇**

※LME(ロンドン金属取引所 \$ベース) 先物清算値と  
為替推移から換算

紙価額とアルミ市況推移



※ 当社グループの仕入れ価額の推移とは異なります。

# 03 2022年12月期2Q連結累計期間の概況

## 事業運営コストの上昇

### 水道光熱費

2022年12月期	売上高比率 <b>2.3%</b>
2021年12月期	売上高比率 <b>1.8%</b>

### 運搬費

2022年12月期	売上高比率 <b>3.6%</b>
2021年12月期	売上高比率 <b>3.4%</b>

2021年までに実行してきた

**固定費の見直し  
設備配置変更**

原価上昇以上の**付加価値**による**売上増加**の結果

## 売上総利益

2022年12月期  
**17,992**百万円 売上高比率 **27.9%**

2021年12月期  
**15,044**百万円 売上高比率 **27.5%**

**+ 2,948**百万円 **19.6%増**



今後とも、より付加価値を上げて  
売上単価を向上させていく必要あり

# 03 2022年12月期2Q連結累計期間の概況

## 販売費および一般管理費

### 工場・事業所の集約

- ・ 研精堂印刷(株) 工場の集約

### 事業会社の合併

- ・ (株)サカモト (株)あみューズ 合併  
⇒ (株)funboxへ

⇒ 事業運営コスト効率化で着実な効果

## 営業利益

2022年12月期

**3,248**百万円

売上高比率 **5.0%**

2021年12月期

**1,745**百万円

売上高比率 **3.1%**

**+ 1,503**百万円

**86.1%増**

# 03 2022年12月期連結累計期間の概況

## 営業外損益

- 助成金収入大幅減 前年同期比  $\Delta 431$ 百万円
- 匿名組合投資利益 前年同期比 168百万円
- 支払手数料減 前年同期比  $\Delta 124$ 百万円

## 経常利益

2022年12月期	3,644百万円
2021年12月期	2,420百万円
	<b>+ 1,224</b> 百万円 <b>50.6%増</b>

## EBITDA

2022年12月期	5,740百万円	売上高比率 <b>8.9%</b>
2021年12月期	4,550百万円	売上高比率 <b>8.3%</b>
	<b>+ 1,190</b> 百万円	<b>26.51%増</b>

※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

# 03 2022年12月期連結累計期間の概況

## 特別利益・損失

- (株)イメージ・マジック  
東証マザーズ（現東証グロース）への上場  
⇒ 保有株式を一部売却
- 持分法関連会社への追加出資  
⇒ 持分変動利益
- 固定資産売却益
- 一部子会社における退職給付制度終了損

## 親会社株主に帰属する四半期純利益

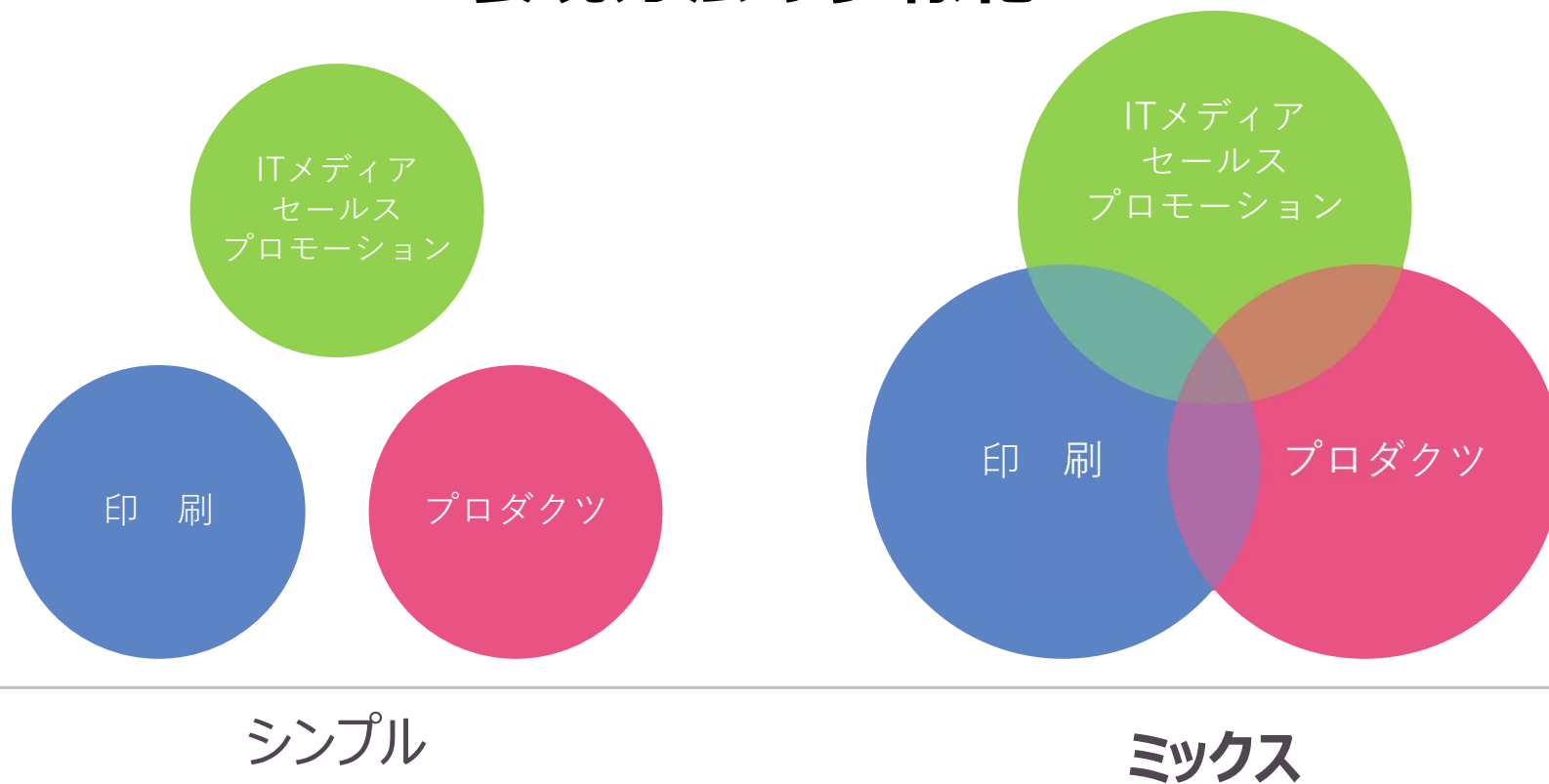
2022年12月期 **2,003**百万円

2021年12月期 **951**百万円

**+ 1,051**百万円 **110.5%増**

# 04 グループ事業概要

## 表現方法の多様化



# 04 グループ事業概要

## 企画から 制作・メディア運用までのワンストップサービス

クライアント様  
(法人企業)



ご依頼

ご納品

プロデューサー



管理

製作

### ソリューションチーム

ONE PUBLISHING 編集者	GI TH DIAMOND HEADS デザイナー	Playce ライター
アド・クレール adclair co.,ltd. 校正・校閲	ONE PUBLISHING popal Going Beyond Conventional Thinking 株式会社 ぽぱる イベント	BARKIN STYLE キャスト
CAD CENTER	BACKSTREETS INC. japan broadcast solutions inc. 動画・配信	FIVESTAR INTERACTIVE ***** Webコンサル
		Lithmatic 印刷・製造
		SONICJAM SEOコンサル

### 競合他社との差異は？

【Case 1】制作会社、編集プロダクション  
編集方針など上流設計ができない。単価が高い。

【Case 2】クラウドソーシング会社  
単発でのコンテンツ制作や大量制作に対応できるが、編集方針に則ったメディア運営はできない。

【Case 3】大手広告代理店  
プランニングは得意だが、メディア運営はできない。再発注先が必要になり、コスト面が莫大に。

### PDCA運用イメージ

クライアント様の状況に応じて、個別・全体最適化できる施策を、企画から運用まで、ワンストップでの支援が可能

1 マーケティング企画

2 メディア企画

3 制作運用

4 改善運用



## 05 印刷業界の市場

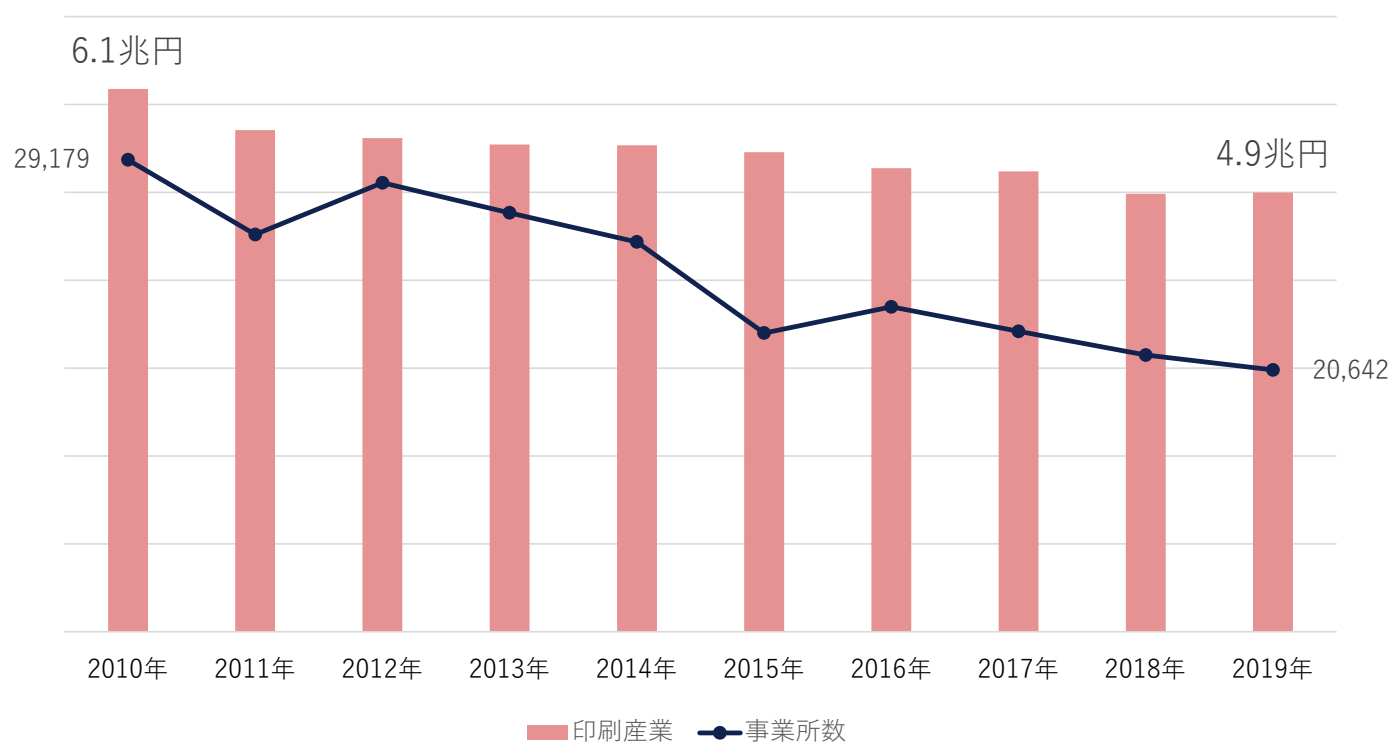
### 印刷業界 市場規模：4.9兆円

- ・出版印刷 …… 書籍、雑誌
- ・商業印刷 …… チラシ、カタログ、ポスター
- ・包装印刷 …… パッケージ
- ・その他 …… 証券印刷、建装材印刷など

出典：日本印刷産業連合会「印刷産業 Annually Report Vol.1 2022年」

# 05 印刷業界の市場

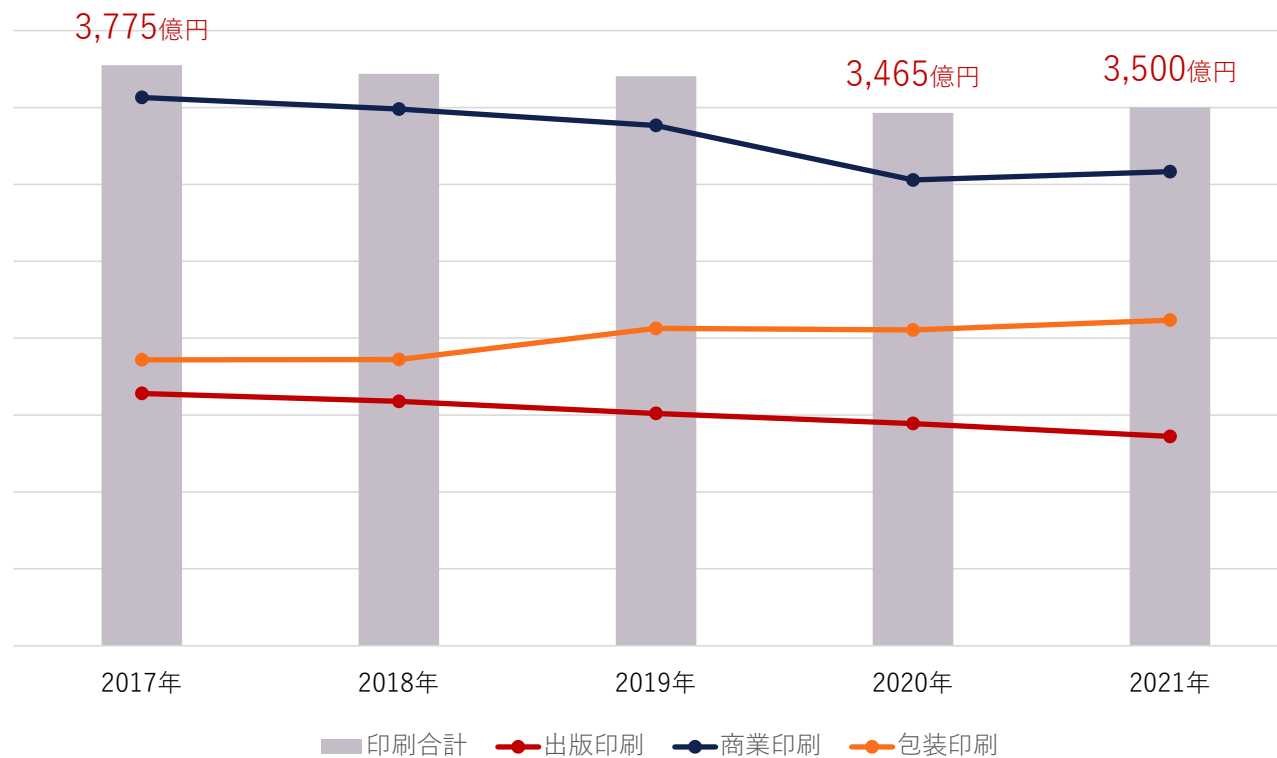
印刷市場全体の推移



出典：日本印刷産業連合会「印刷産業 Annually Report Vol.1 2022年」

# 05 印刷業界の市場

印刷生産金額の推移（印刷部門のみ）

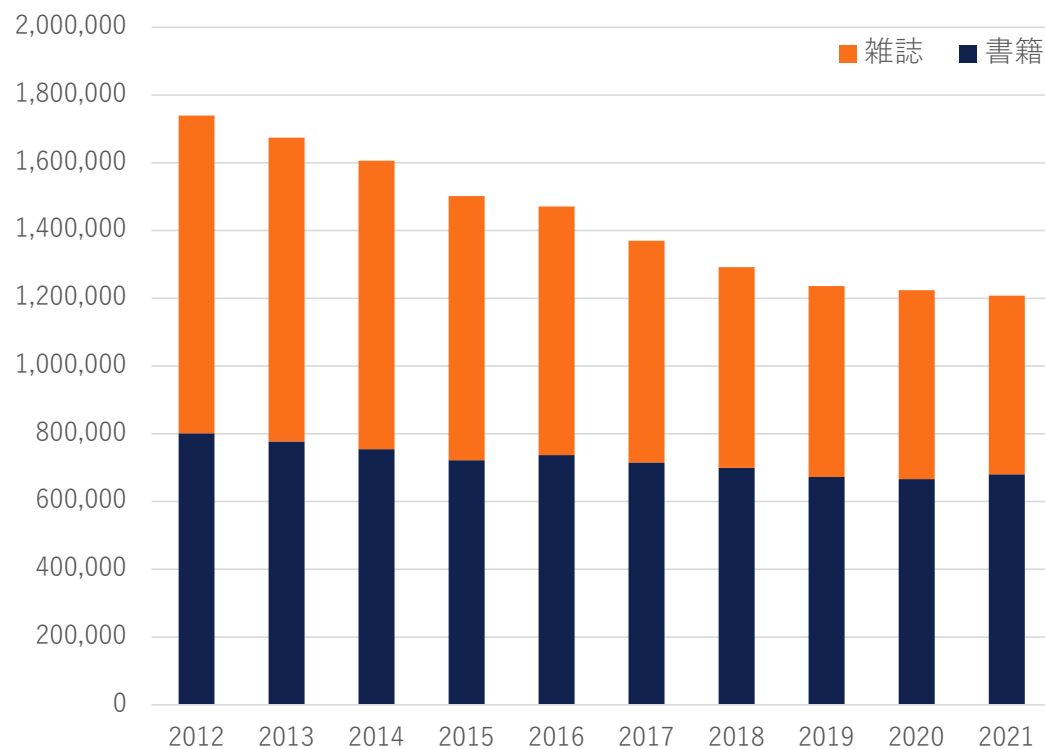


出典：経済産業省「経済産業省生産動態統計」年報 2021年

# 05 印刷業界の市場

## 出版印刷

書籍・雑誌の販売金額



### 雑誌

発行部数の減少



### 書籍

安定した推移  
販売金額の増加



出典：日本印刷産業連合会「印刷産業 Annually Report Vol.1 2022年」

# 05 印刷業界の市場

## 商業印刷

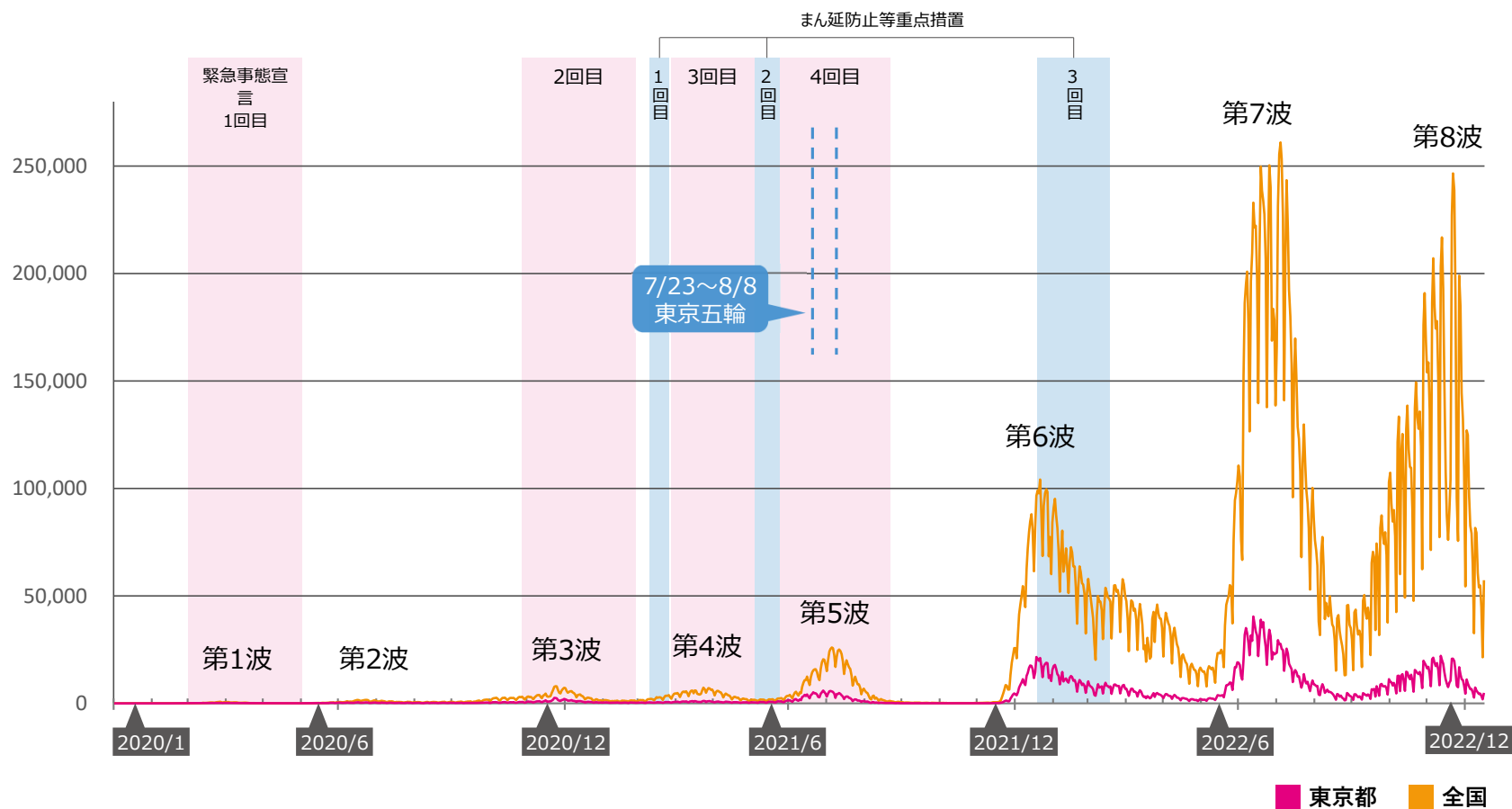
- ・訴求力のあるオリジナル性
- ・大量印刷から小ロット化へ



- ・デザイン、付加価値への注目が上がる
- ・オンデマンドビジネスの加速



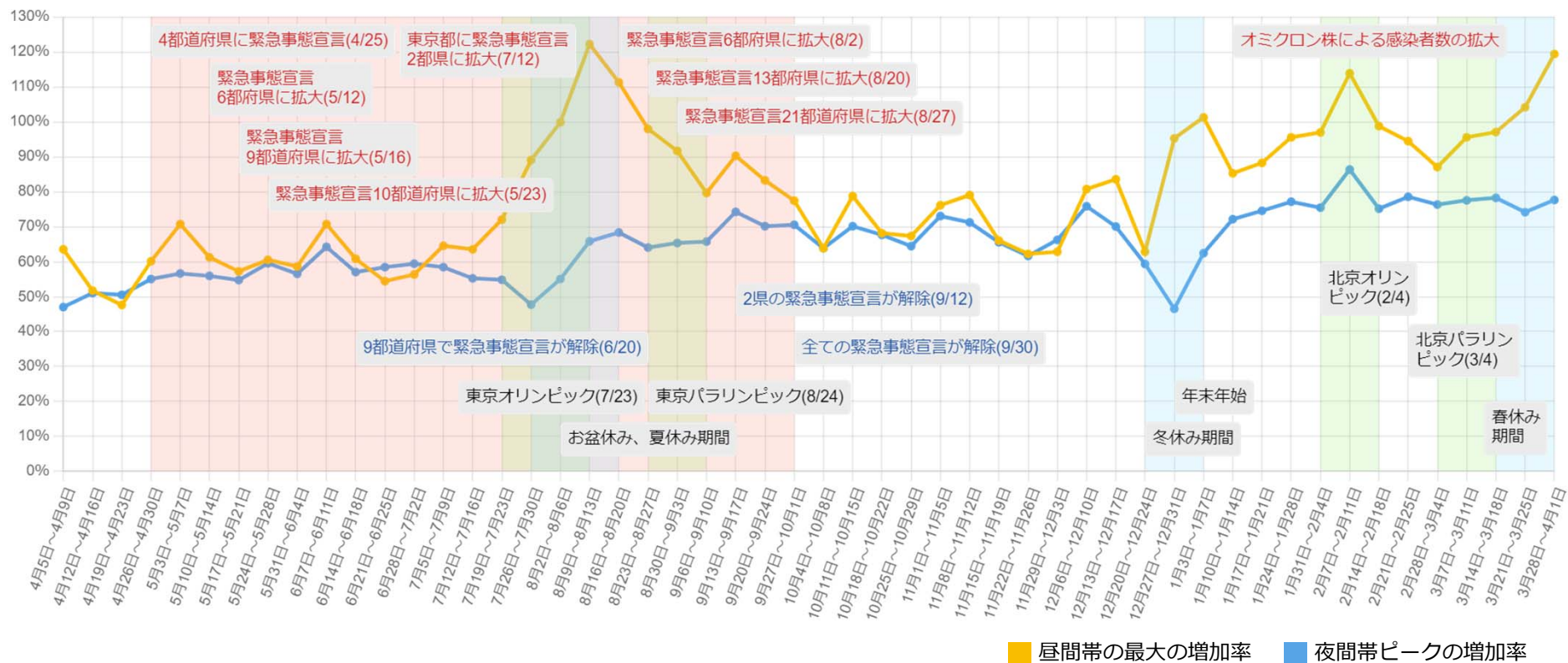
# 06 コロナ禍と緊急事態宣言 (東京都)



※厚労省のデータを元に作成 (緊急事態宣言は東京都が対象になった期間)

# 06 コロナ禍と緊急事態宣言 (東京都)

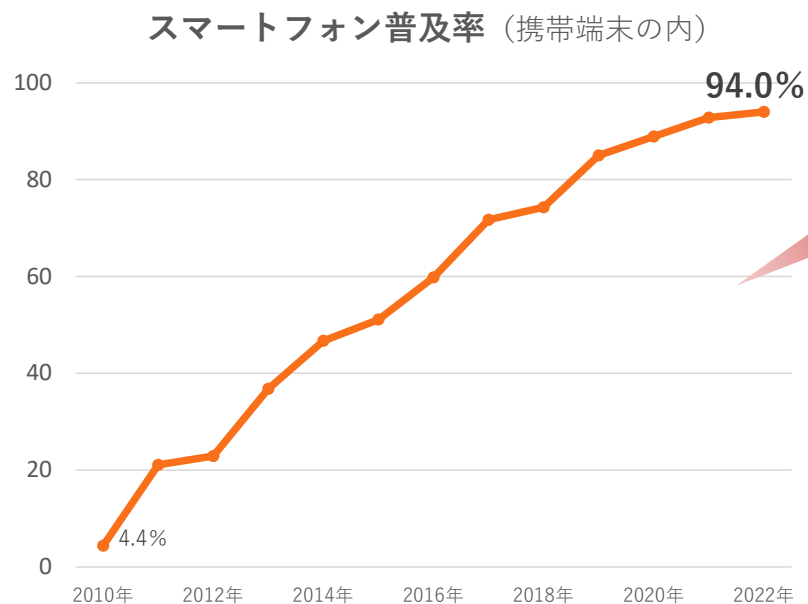
2021年～2022年 インターネットトラフィック (通信量) 増加率の推移



出典：NTTコミュニケーションズ インターネットトラフィック(通信量)の推移 年度別

# 06 コロナ禍と緊急事態宣言 (東京都)

社会全体が急速にデジタルシフト



出典：NTTドコモ モバイル社会研究所 220414 [調査対象：全国・15～79歳男女]

社会の変容に適応し、

シフトできる事業体が

産業構造を変える



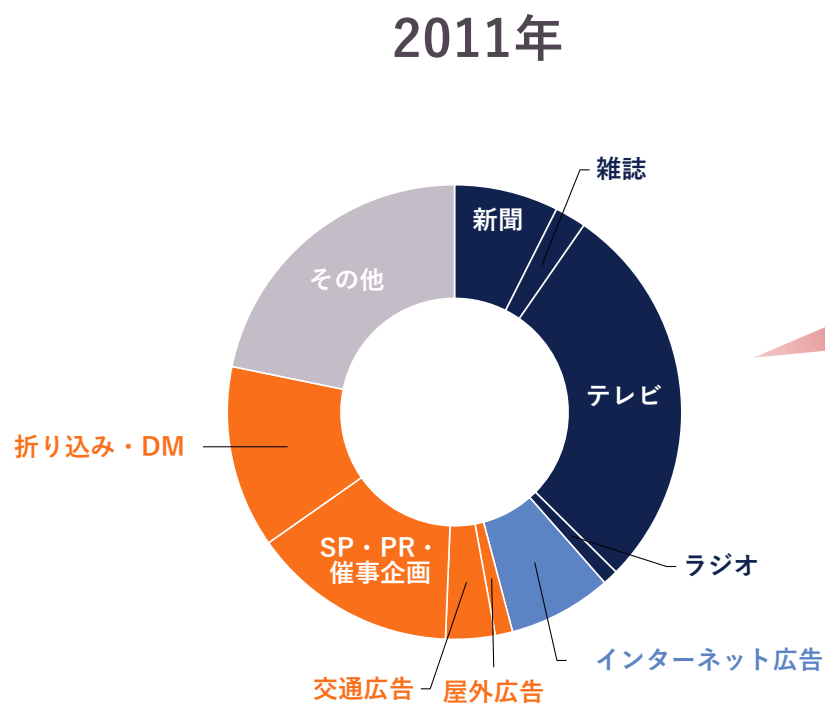
# 07 広告業界の市場

## 広告業界 市場規模：5.7兆円

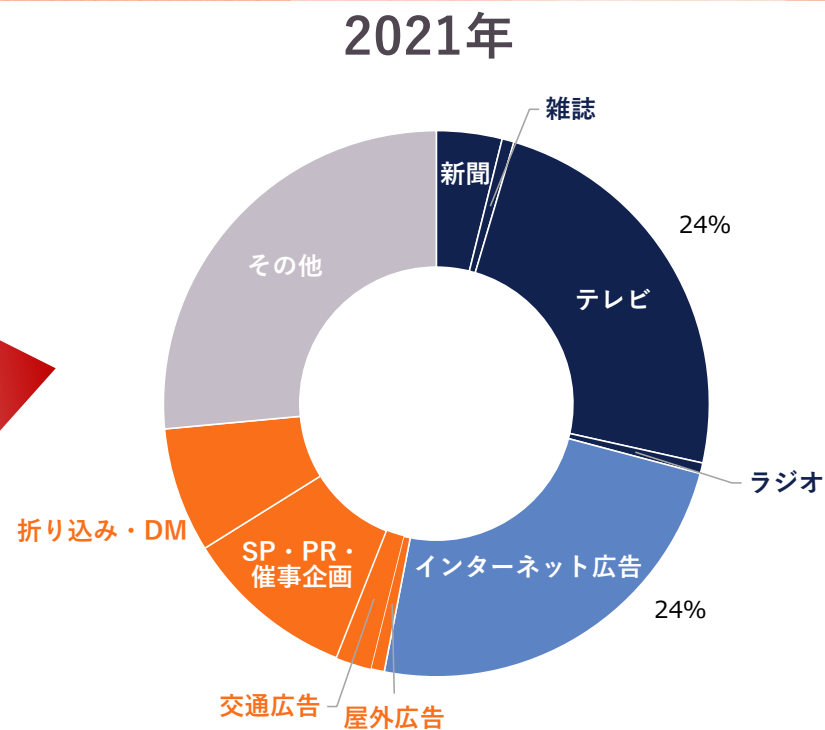
- ・マス広告（テレビ・雑誌・新聞・ラジオ） → 減少傾向
- ・インターネット広告（SNS・動画配信サービスなど） → 大幅増
- ・プロモーションメディア（屋外・交通広告・DM）



# 07 広告業界の市場



市場規模：5.1兆円



市場規模：5.7兆円

# 08 クリエイティブサービス事業

- 専門性高くユニークなグループ各社
- ユニークなソリューションを持つ各社が協力して新たな付加価値を創発する
- 新たな付加価値をワンストップで提供できる



創る

ことをサポート

発想する

ことをサポート

届ける

ことをサポート

# 09 2022年12月期連結累計期間の概況

(単位：百万円)

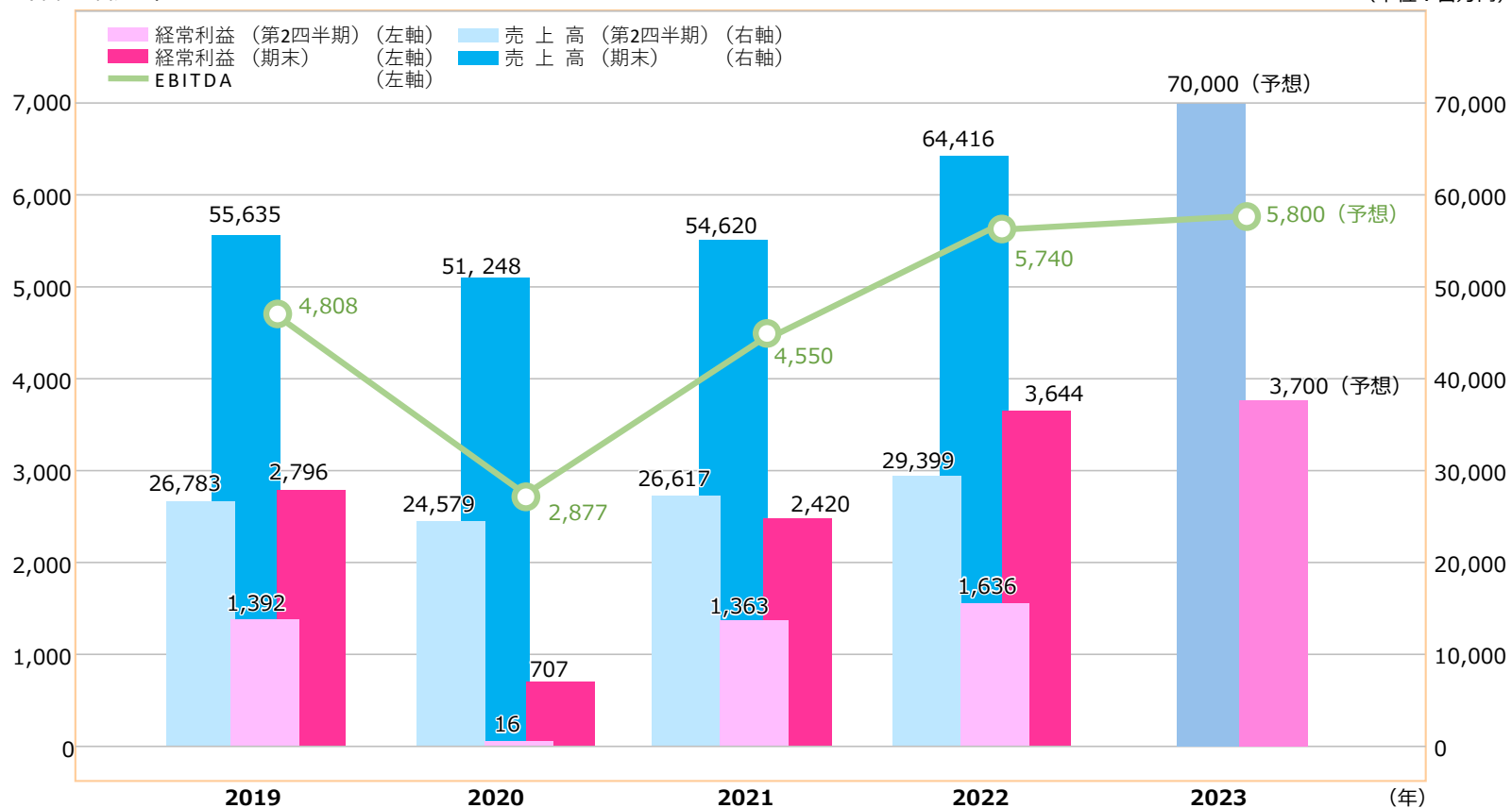
	2022年 実績 (A)	2022年12月期計画 (B) (2022年11月11日修正)		2021年 実績 (C)	差 異 (A-C)	
	金 額	金 額	対計画比 増減率	金 額	金 額	対前期比 増減率
<b>売 上 高</b>	<b>64,416</b>	62,000	3.9%	<b>54,620</b>	9,795	17.9%
<b>営業利益</b>	<b>3,248</b>	2,700	20.3%	<b>1,745</b>	1,503	86.2%
<b>営業利益率</b>	<b>5.0%</b>	4.4%	—	<b>3.2%</b>	—	—
<b>経常利益</b>	<b>3,644</b>	2,900	25.7%	<b>2,420</b>	1,224	50.6%
<b>経常利益率</b>	<b>5.7%</b>	4.7%	—	<b>4.4%</b>	—	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	<b>2,003</b>	2,000	0.6%	<b>951</b>	1,051	110.5%
<b>当期純利益率</b>	<b>3.1%</b>	3.2%	—	<b>1.7%</b>	—	—
<b>EBITDA</b>	<b>5,740</b>	5,100	12.6%	<b>4,550</b>	1,190	26.2%

※EBITDA = 経常利益減価償却費のれんの償却額金融費用

# 09 2022年12月期連結累計期間の概況

(単位：百万円)

(単位：百万円)



※EBITDA = 経常利益減価償却費のれんの償却額金融費用

※2019年12月期以降は、不動産賃貸収入を売上高ではなく 営業外収入として計上しています

# 09 2022年12月期連結累計期間の概況

(単位：百万円)

		2022年12月期(実績)	2021年12月期(実績)	前期比増減	増減率
<b>A</b>	売上高	64,416	54,620	9,795	17.9%
<b>B</b>	原材料費	14,327	11,598	2,729	23.5%
	商品仕入	▲ 55	163	▲ 218	－ %
	外注加工費	16,766	13,730	3,036	22.1%
	運搬費・著作権料・保管費	2,680	2,138	541	25.3%
	その他の原価	159	145	14	9.9%
<b>A - B</b>		<b>30,538</b>	<b>26,845</b>	<b>3,693</b>	<b>13.8%</b>
	人件費	18,521	17,221	1,299	7.5%
	減価償却費	1,557	1,550	6	0.4%
	のれん償却費	87	129	▲ 42	▲ 32.4%
	賃借料	1,159	1,021	137	13.5%
	租税公課	372	406	▲ 34	▲ 8.5%
	貸倒費用	▲ 17	23	▲ 41	－ %
<b>営業利益</b>		<b>3,248</b>	<b>1,745</b>	<b>1,503</b>	<b>86.2%</b>
	支払利息	▲ 161	▲ 152	▲ 8	－ %
	持分法損益	49	31	17	56.3%
<b>経常利益</b>		<b>3,644</b>	<b>2,420</b>	<b>1,224</b>	<b>50.6%</b>
<b>当期利益</b>		<b>2,003</b>	<b>951</b>	<b>1,051</b>	<b>110.5%</b>

# 10 連結貸借対照表 (資産の部)

(単位：百万円・%)

科 目	2022年12月期		2021年12月期		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
<b>流動資産</b>	29,953	44.2%	28,375	42.6%	1,578	5.6%
現金及び預金	10,400	15.3%	12,231	18.4%	▲ 1,830	▲ 15.0%
受取手形、売掛金及び契約資産	12,867	19.0%	10,328	15.5%	2,539	24.6%
電子記録債権	2,469	3.6%	1,827	2.7%	642	35.2%
その他	4,215	7.5%	3,988	6.0%	224	5.6%
<b>固定資産</b>	37,818	67.0%	38,220	57.4%	▲ 401	▲ 1.1%
<b>有形固定資産</b>	25,479	45.1%	25,035	37.6%	444	1.8%
建物及び構築物	7,729	13.7%	6,341	9.5%	1,388	21.9%
機械装置及び運搬具	2,671	4.7%	2,257	3.4%	414	18.4%
土地	14,773	26.2%	14,583	21.9%	189	1.3%
その他	304	0.5%	1,853	2.8%	▲ 1,548	▲ 83.5%
<b>無形固定資産</b>	1,420	2.5%	961	1.4%	459	47.8%
のれん	201	0.4%	127	0.2%	73	57.8%
その他	1,218	2.2%	833	1.3%	385	46.2%
<b>投資その他の資産</b>	10,918	19.3%	12,224	18.4%	▲ 1,305	▲ 10.7%
投資有価証券	4,948	8.8%	4,588	6.9%	359	7.8%
その他	5,970	10.6%	7,635	11.5%	▲ 1,664	▲ 21.8%
<b>資産合計</b>	67,771	100.0%	66,595	100.0%	1,176	1.8%

# 10 連結貸借対照表 (負債及び純資産の部)

(単位：百万円・%)

科 目	2022年12月期		2021年12月期		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
<b>流動負債</b>	41,360	61.0%	39,877	59.9%	1,482	3.7%
買掛金	5,032	7.4%	3,825	5.7%	1,207	31.6%
短期借入金	27,000	39.8%	27,000	40.5%	-	-%
1年以内返済予定長期借入金	2,400	3.5%	3,200	4.8%	▲ 800	▲ 25.0%
その他	6,927	10.2%	5,852	8.8%	1,075	18.4%
<b>固定負債</b>	13,675	20.2%	14,374	21.6%	▲ 698	▲ 4.9%
長期借入金	10,650	15.7%	11,250	16.9%	▲ 600	▲ 5.3%
退職給付に係る負債	134	0.2%	1,235	1.9%	▲ 1,101	▲ 89.1%
その他	2,891	4.3%	1,888	2.8%	1,002	53.1%
<b>負債合計</b>	55,035	81.2%	54,251	81.5%	783	1.4%
<b>株主資本</b>	12,153	17.9%	10,803	16.2%	1,349	12.5%
資本金	400	0.6%	400	0.6%	-	-%
資本剰余金	5,461	8.1%	5,530	8.3%	▲ 68	▲ 1.2%
利益剰余金	8,144	12.0%	6,725	10.1%	1,418	21.1%
自己株式	▲ 1,852	▲ 2.7%	▲ 1,852	▲ 2.8%	▲ 0	0.0%
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	133	0.2%	143	0.2%	▲ 10	▲ 7.1%
<b>非支配株主持分</b>	449	0.7%	1,397	2.1%	▲ 947	▲ 67.8%
<b>純資産合計</b>	12,736	18.8%	12,343	18.5%	392	3.2%
<b>負債・純資産合計</b>	67,771	100.0%	66,595	100.0%	1,176	1.8%

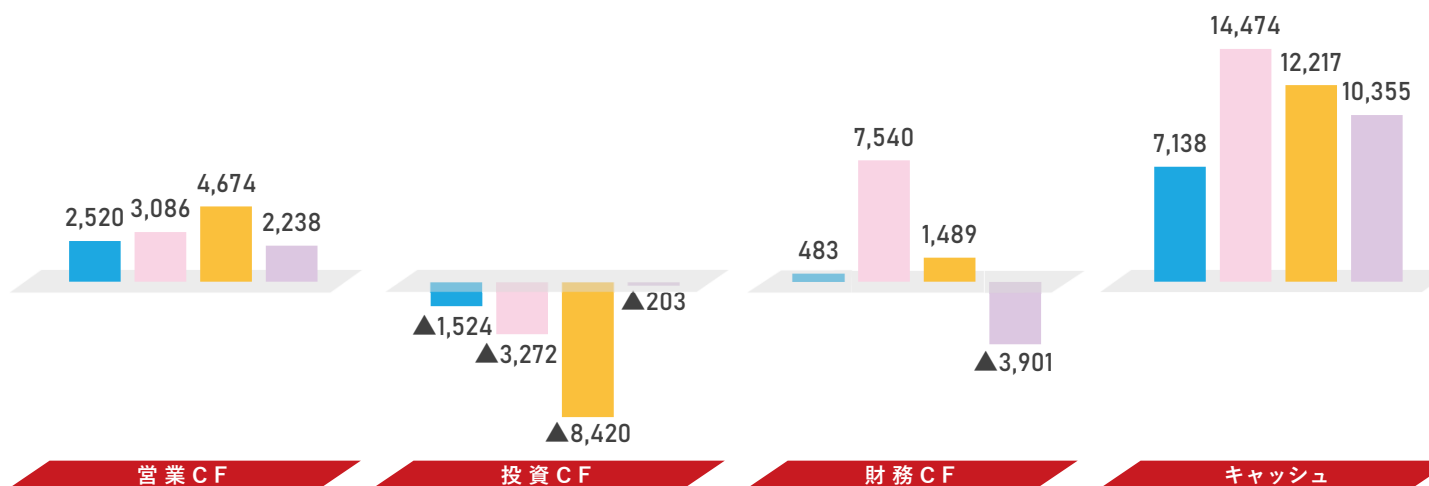


# 11 キャッシュ・フロー

■ 2019年12月期 ■ 2020年12月期 ■ 2021年12月期 ■ 2022年12月期

(単位：百万円)

	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,520	3,086	4,674	2,238
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,524	▲3,272	▲8,420	▲203
財務活動によるキャッシュ・フロー	483	7,540	1,489	▲3,901
現金及び現金同等物の期末残高	7,138	14,474	12,217	10,355



# 12 2023年12月期 業績の見通し (連結)

(単位：百万円)

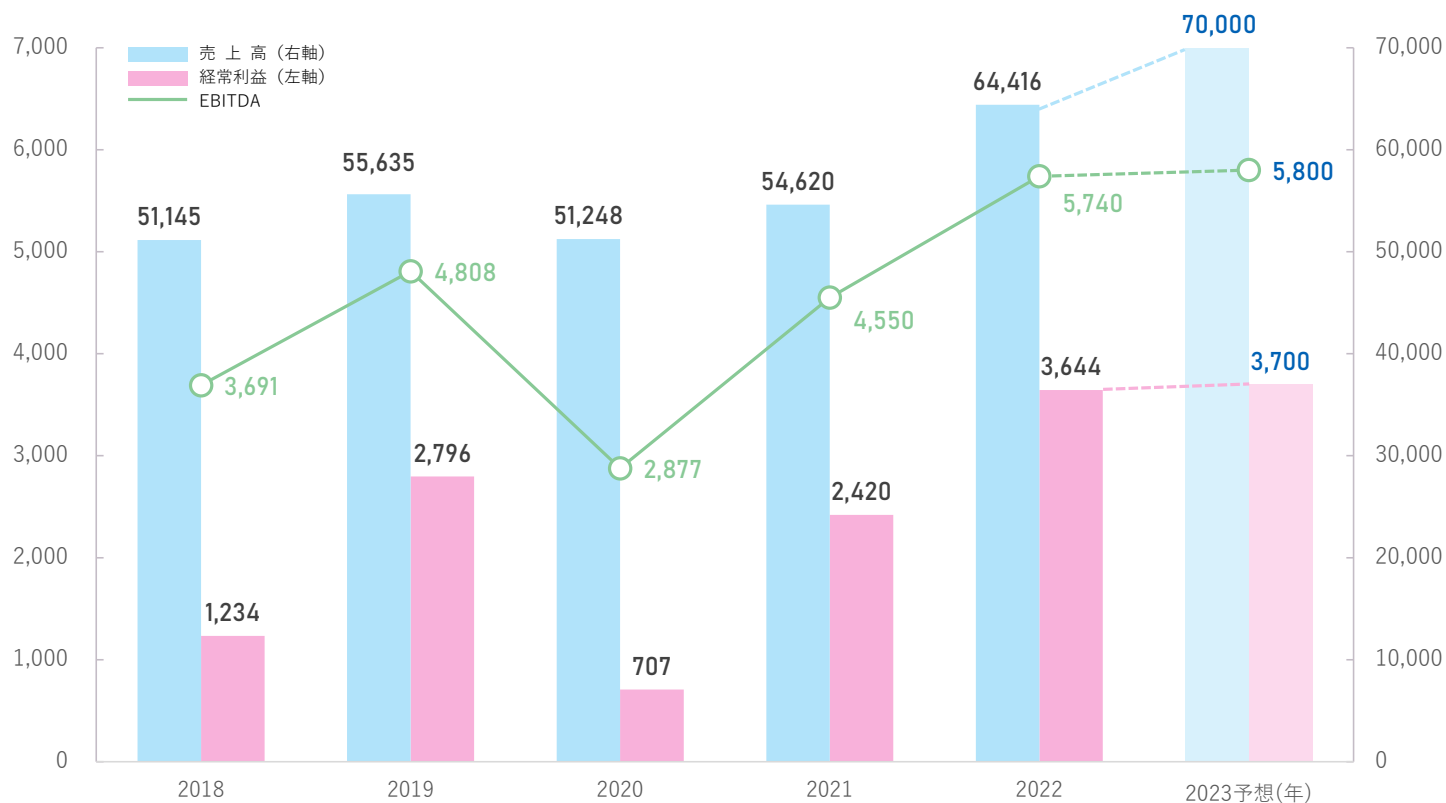
	2022年12月期 (実績)	2023年12月期 (計画)	前 期 比	
			差 額	増減率
売 上 高	64,416	<b>70,000</b>	5,583	8.7%
営業利益	3,248	<b>3,300</b>	51	1.6%
経常利益	3,644	<b>3,700</b>	55	1.5%
EBITDA	5,740	<b>5,800</b>	59	1.0%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,003	<b>2,200</b>	196	9.8%
EPS (円 銭)	41円54銭	<b>45円60銭</b>		
期中平均株式数 (千株)	48,243	<b>48,243</b>		

※EBITDA = 経常利益減価償却費のれんの償却額金融費用

# 12 2023年12月期 業績の見通し (連結)

(単位：百万円)

(単位：百万円)



※EBITDA = 経常利益減価償却費のれんの償却額金融費用

※2019年12月期以降は、不動産賃貸収入を売上高ではなく 営業外収入として計上しています

# 本日は決算説明会へのご参加 ありがとうございました。

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料作成時点において、

当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、

当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、

当資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。



U R L : <https://www.jcpg.co.jp/>

E-mail : [cp@jcpg.co.jp](mailto:cp@jcpg.co.jp)

T E L : 03-5817-3061 IR担当